

○第1回災害事前研修会を終えて

平成23年3月11日午後2時46分頃に発生した、東日本大震災では多くの方が犠牲になるなど多大な被害が今でも続いています。建物や車など次々と町ごと飲み込む津波の映像を見て目を疑ったと同時に、近いうちに高い確率で来ると言われている南海大地震に対する危機感が高まりました。

当院は、「地域災害拠点病院」に指定されており、災害発生時の地域住民の生命を守るため、医療救援活動の中核施設としての重要な役割があります。その役割を果たすために、災害発生時マニュアルの見直しや、県東部地区の医療職・介護職を対象に、合同災害訓練や災害事前研修会を行っています。



災害発生時に対応するには、やはり日頃からの知識や技術の準備が必要であり、災害についての認識を深め、もし災害が起きてしまった時、まず、何をしなければならないのか、どう行動すれば良いのかを常に一人ひとりが考えておかなければならないと思います。



今回は、7月6日に行われた、第1回災害事前研修会“災害医療に対する心構え・スタート式トリアージ”の様子をお伝えします。この研修会には、当院内外含めて合計61名という多くの方に参加して頂き、災害現場の様な慌ただしい中、スタート式トリアージについて学ぶ事ができました。

※今後の予定※

第4回 8月24日(水)
“トリアージと応急処置”

第5回 10月5日(水)
“本部の役割・報告用紙の取り扱い”
平成24年1月14日 合同災害訓練

〇ふれあい医療教室を開催しました！

平成23年度第1回ふれあい医療教室

7月16日（土）安芸市民会館 大ホールにて平成23年度第1回ふれあい医療教室が開催されました。（【座長】高知県立安芸病院院長 前田 博教）



講演のテーマは、

〇災害派遣医療チームの被災地での活動報告
県立安芸病院 整形外科医長 今里 滋宏 先生

〇大地震に備える健康管理
高知大学医学部外科学（外科2）講座教授
渡橋 和政 先生

でした。当日は、地域の皆様に多数ご参加いただき、大盛況に行うことができました。ありがとうございました。

〇新病院の名称募集について

1 募集の内容

平成26年度のグランドオープンを目指して建設中の『安芸地域県立病院（仮称）』の名称を募集しています。次のポイントを参考に、皆様の自由な発想で新病院にふさわしい名称をご応募ください。

（ポイント）

- ① 県東部地域の中核病院
- ② 地域に開かれた病院、地域の人々にとって身近な病院として地域から親しまれ、信頼される病院
- ③ 豊かな自然に恵まれた東部地域のシンボルとなる病院
- ④ 将来にわたり持続可能な病院

2 募集期間

平成23年7月19日（火）～8月31日（水） 当日消印有効

3 応募資格

どなたでも応募できます。

4 応募方法

（1）募集チラシの応募フォームに必要事項をご記入のうえ、県立病院課あてにFAXいただくか、安芸病院・芸陽病院などに備え付けている応募箱にご投かんください。また、はがき又は電子メールの場合は、次の項目をきれいに記入のうえ、県立病院課までご送付ください。

（ホームページでも直接応募できます）

- ①名称
- ②名称の読み方（ひらがな）
- ③名称に込めた思い・意味（簡潔に）
- ④住所
- ⑤氏名（ふりがな）
- ⑥年齢
- ⑦電話番号
- ⑧職業（学年）

※募集チラシの配布場所

安芸病院、芸陽病院、安芸市・室戸市及び安芸郡の各市町村役場

（2）お一人様何点でも応募できますが、応募1件につき1点ずつとします。

（3）採用された名称に関する一切の権利は、高知県に帰属します。

（4）この募集に際し、お寄せいただいた個人情報を選考の際のみに使用し、発表後は適正に処分します。

5 結果発表

安芸地域県立病院（仮称）名称選定委員会による厳正な審査などを経て決定したうえで、採用された方には9月下旬に通知するとともに、県立病院課のホームページ等で公表します。また、採用された方（1名）には、賞状と副賞（5,000円分の図書カード）を贈呈します。（注）同名応募が複数の場合は、抽選により決定します。

【応募・問い合わせ先】

〒780-0850

高知市丸ノ内1丁目7番52号

高知県公営企業局 県立病院課 病院整備担当

（電話）088-821-4920

（FAX）088-821-4509

（ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610101/>

（電子メール）

610101@ken.pref.kochi.lg.jp

※電子メールの場合の件名は、「新病院の名称応募」としてください。